令和５年度　肢体不自由児協会事業報告

きぼっこキャンプ実行委員会（ボランティア団体）と共催して、第５０回きぼっこキャンプ（昭和４７年開始）を夏季２泊３日、冬季１泊２日で開催しました。キャンプでは、肢体不自由あるいは発達障がいのある子どもたちが、トレーニングを積んだボランティア学生と一緒に自分たちで計画したプログラムを十分に楽しみました。

障がい児・者親の会等セルフヘルプグループ支援システム推進事業においては、令和４年度から取り組んでいる「将来に必要なお金の話」～親なき後の経済的不安に備えるために～と題する学習会を丸森町親の会及び石巻地域の親の会と共催しました。学習会の成果は、成人期を過ぎている子どもの保護者が、切迫している経済的課題解決の取り組みの意義を理解するにつけて、保護者（当事者）を中心に置いた相談支援員とファイナンシャルプランナーとの連携が重要な課題として認識されたことです。

パソコンボランティア養成講座（宮城県地域生活支援事業）では、受講生６名の内５名の方が既定の受講時間（２０時間）を修了してパソコンボランティアとして宮城県に登録されました。

また、地域等との連携にあたり、亘理町障害者等地域自立支援協議会の委員、宮城県教育庁生涯学習課の人権教育指導者養成事業の講師等として職員を派遣しました。

１　普及運動の実施

本運動は、ノーマライゼーションの理念に基づき、肢体不自由児等の障がいがある子どもとその家族の視座に立ち、地域共生社会の実現を目指す運動として実施しています。

（１）「障がいのある子どもに愛の手を」普及運動

運動趣旨、事業内容に加えて、障がいのある子どもに対する理解促進を図り、障害者に関するマークを掲載したリーフレット「肢体不自由児協会事業募金にご協力を」を作成し県民の方々に配布しました。また、障がい児（者）の自立援助のための事業の協賛（事業資金）を募りました。

ア　運動の趣旨　　障がい児親の会の活動支援と協働について、関係団体・機関等との連携を図りながら、親の会等セルフヘルプグループを支援するシステム構築を目指す。

イ　普及運動地域　　宮城県一円

ウ　事業資金募集の概要

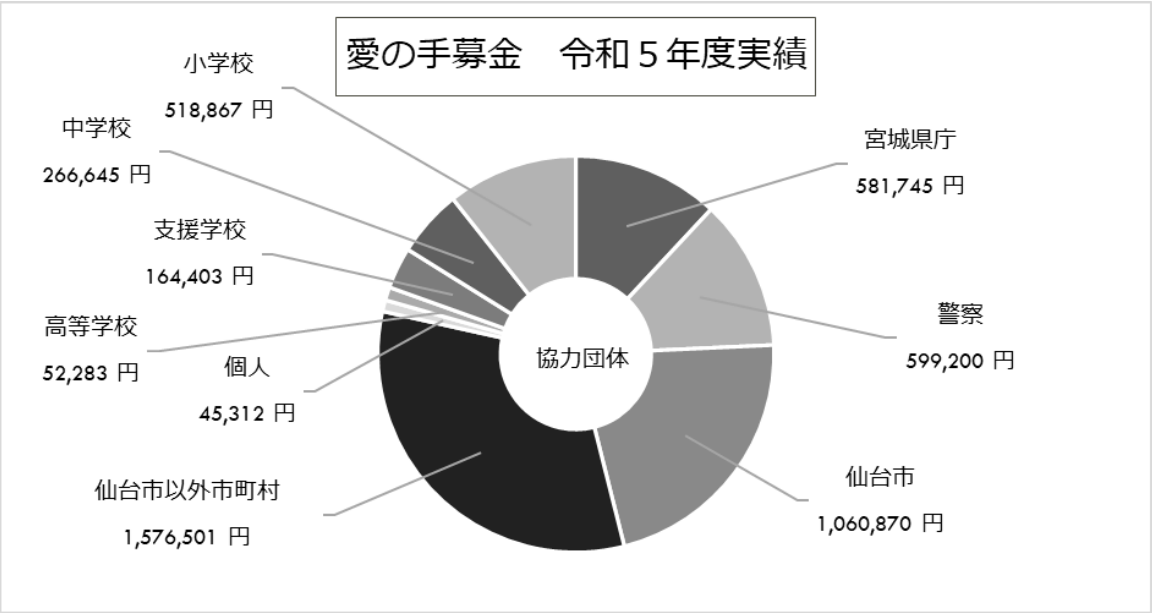
（ア）協賛金額　　１口２００円

（イ）募集期間　　令和５年９月１日から令和６年１月３１日まで

（ウ）募集対象　　宮城県内官公所(署)、団体、（公・私立）小・中・高等・特別支援学校など

令和５年度愛の手募金実績

依頼先		ご協力口数	募金額(円)
県　　庁	本　庁	1,295	233,641
	地方公所	1,901	348,104
	計	3,196	581,745
市　町　村	仙台市	5,396	1,060,870
	他市町村	7,517	1,576,501
	計	12,913	2,637,371
宮城県警察	県警本部	1,406	277,900
	警察署	1,712	321,300
	計	3,118	599,200
個人	個人	8	45,312
	計	8	45,312
学　　校	小学校	2,617	518,867
	中学校	1,355	266,645
	高等学校	276	52,283
	支援学校	887	164,403
	計	5,135	1,002,198
愛の手募金合計		24,370	4,865,826



上記団体の職員等有志よりご協力いただきました実績です。

（２）第７１回「手足の不自由な子どもを育てる運動」

社会福祉法人日本肢体不自由児協会、各都道府県の肢体不自由児協会が主催して、全国一斉に展開した第７１回「手足の不自由な子どもを育てる運動」を宮城県内の関係諸団体に対して周知を図り、合わせて本運動を推進しました。

ア　後援

（全国）

内閣府	厚生労働省
文部科学省	日本郵便株式会社
都道府県	日本障害者協議会
全国社会福祉協議会	全国肢体不自由児者父母の会連合会
全国肢体不自由児施設運営協議会	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国都道府県教育長協議会	全国連合小学校長会
全日本中学校長会	全国高等学校長協会
日本私立中学高等学校連合会	日本ＰＴＡ全国協議会
日本放送協会	日本チャリティプレート協会
日本医師会	全国肢体不自由特別支援学校ＰＴＡ連合会

（宮城）

宮城県	
宮城県教育委員会	仙台市教育委員会
宮城県社会福祉協議会	宮城県肢体不自由児者父母の会連合会
宮城県小学校長会	仙台市小学校長会
宮城県中学校長会	仙台市中学校長会
宮城県市町村教育委員会協議会	

イ　運動期間　令和５年１１月１０日から１２月１０日まで

（ア）手足の不自由な子どもを育てる運動のポスターを県内小学校、中学校、特別支援学校に掲示を依頼し、啓発活動をおこないました。

（イ）肢体不自由児・者への認識と関心を深め、あわせて障がい児・者の自立援助のため、希望する児童生徒と教職員に「友情と愛の絵はがき」「クリアファイル」「２ＷＡＹフォルダー」を頒布しました。

２　社会参加促進事業の実施

（１）第５０回「きぼっこキャンプ」

主　催：社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会　肢体不自由児協会事業

共　催：きぼっこキャンプ実行委員会

後　援：宮城県、宮城県教育委員会、宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

夏季キャンプ

期　間：８月１２日（土）～１４日（月）２泊３日

会　場：宮城県七ツ森希望の家・嘉太神校舎（黒川郡大和町）
　　宮城県障害者福祉センター（仙台市宮城野区）

参加者：男子児童生徒６名、ボランティア（リーダー：学生９名、スタッフ：勤人１０名、ＯＢ・ＯＧ各１名）、法人職員１名

準備等：
スタッフ会議　　：１２回（会場：宮城県障害者福祉センター）
ボランティアトレーニング：８回（会場：宮城県障害者福祉センター　７回、
宮城県七ツ森希望の家宿泊　１回）

冬季キャンプ
期　間：１２月２３日（土）～２４日（日）１泊２日
会　場：宮城県七ツ森希望の家
参加者：男子児童生徒５名、ボランティア（リーダー：学生６名、スタッフ：勤人
７名、ＯＧ２名）、法人職員１名

その他：きぼっこキャンプ後のお楽しみ会（ボランティア学生企画）
秋のお楽しみ会
日　時：１１月５日（日）10：00～12：30
会　場：宮城県障害者福祉センター
参加者：児童生徒４名、ボランティア４名、法人職員１名　計９名
内　容：ボッチャ体験、懇談会

3　セルフヘルプグループ支援システム推進事業

（１）親の会学習会（親の会と共催）

障がい児（者）家庭のライフステージごとの生活課題とお金の対策について、親が亡くなる前に考えておきたいお金に関する制度及び仕組みなどを含めての学習会を開催しました。

テーマ：「将来的に必要なお金について考える」
講　師：特定非営利活動法人障がい者の暮らしとお金の相談室　齋藤 真一氏
ア　第１回学習会
共　催：丸森町心身障障害児者親の会
協　力：丸森町社会福祉協議会
日　時：令和５年７月２４日（木）10：00～12：00
会　場：丸森町舘矢間まちづくりセンター　ホール
参加者：１２名（親の会会員７名、丸森町社協職員３名、民生委員１名、
他１名）
イ　第２回学習会
共　催：福祉サークル I♡愛
日　時：令和５年９月２０日（水）13：00～12：00
会　場：石巻市総合福祉会館みなと荘
参加者：７名（親の会会員）

（２）重症心身障がい児親の会「ベリーの会」活動への参加協力の概要（表）

行事	期日	主たる内容	会場	参加者
通常総会	4/13(木) 10:00 ～12:00	総会 ・令和４年度報告 ・令和５年度計画	亘理町保健福祉センター	会員６名 肢不協１名
交流会	6/15(木) 10:00 ～12:00	園芸のワークショップ	亘理町保健福祉センター	会員５名、講師１名 肢不協１名
地域交流会	7/22(土) 10:00 ～16:00	音楽遊び	亘理町中央公民館	11 家庭（大人 18 名、子ども 17 名） ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等 12 名、肢不協１名 総勢 48 名
地域交流会	12/16(土) 10:00 ～16:00	クリスマス会	亘理町中央公民館	19 家庭（大人 23 名、子ども 23 名） ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等 15 名、肢不協１名 総勢 62 名
定例会	2/15(木) 10:00 ～13:00	定例会 ・情報交換 ・今後の予定	亘理町保健福祉センター	会員５名 肢不協１名

（３）ボランティア団体 わプロジェクト活動への参加協力の概要

内　容：夏の行事

期　日：令和５年９月２日（土）

会　場：岩沼市総合福祉センターi あいプラザ

参加者：３家庭（８名）、ボランティア１０名

4　地域生活支援事業

（１）パソコンボランティア養成業務（受託事業）

障がい者の福祉に理解と熱意を有し、情報通信技術に一定の知識・技能を有する者に対して、障がい者のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術等の習得を目標とするパソコンボランティア養成講座を通してパソコンボランティアを養成し、もって障がい者の社会参加促進を図りました。

ア　パソコンボランティア養成講座の概要（表）

会場：宮城県障害者福祉センター

	期　日	内容と担当講師　（敬称略）	受講者数
基礎課程	9 月 10 日（日）	・社会福祉概論 宮城県障害者福祉センター　鈴木　妙 ・肢体不自由者とＩＣＴ支援について 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター　泉　美帆 ・パソコンボランティア活動の実際 パソコンボランティア　田辺　治	５名

		・パソコンボランティア養成事業について 宮城県障がい者福祉協会　　末田　耕司	
中上級 課　程	9月24日 （日） 10月7日 （土）	・肢体不自由者支援機器・ソフト（ipad） 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター 安齋　敬太 ・ＡＴ・ＡＡＣによるコミュニケーション支援 楽暮プロジェクト　　竹島 久志 ・視覚障がい者支援ソフト（音声入力ソフト） 仙台市視覚障害者福祉協会　　鴫原 真一 ・コミュニケーションと自己覚知 相談支援事業所　おもいやライフ　　髙橋　壮 ・コミュニケーションについて 宮城県障がい者福祉協会　　末田 耕司	6名 5名
	10月21日 （土）	・ｅースポーツ、ｽｲｯﾁｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ等入力機器について 東北福祉大学　情報福祉研究室　　高橋 俊史 ・障がい者福祉概論（合理的配慮等） 宮城県障がい者福祉協会　　末田 耕司 ・まとめ、確認テスト、今後について 宮城県障がい者福祉協会　　末田 耕司	6名

イ　パソコンボランティア養成学習会の概要（表）
会場：亘理町保健福祉センター

	期　日	内容と担当講師　（敬称略）	受講者数
応　用 課　程	3月4日 （月）	・重度肢体不自由児へのＡＴ・ＡＡＣによるコミュニケーション支援について 楽暮プロジェクト　　竹島 久志	5名

5　地域との連携・地域公益事業

（１）関連機関委員委嘱等による会議出席の概要

ア　亘理町障害者等地域自立支援協議会委員　全体会　２回参加

第１回　期日：７月３日（月）15：30～17：00　　会場：亘理町役場

内容：会長・副会長選任

令和４年度活動状況報告（全体会、各部会）

令和５年度活動計画

県南ｴﾘｱｺﾐｭﾆﾃｨ地域支援拠点県南ありのまま舎の進捗状況報告

第２回　期日：３月１５日（金）15：30～17：00　会場：亘理町保健福祉センター

内容：令和５年度活動状況報告（全体会、各部会）

県南ｴﾘｱｺﾐｭﾆﾃｨ地域支援拠点県南ありのまま舎の進捗状況報告

子ども部会　２回参加

第１回　期日：６月２１日（水）10：00～12：00　　会場：亘理町役場

内容：情報共有（宮城医療的ケア児等相談支援センター「ちるふぁ」）

協議：活動報告・計画、「新生児期からの在宅移行支援について」

第３回　期日：１月２４日（水）10：00～12：00　会場：亘理町保健福祉センター

内容：・「発達障害児への支援」についての実践報告

・活動報告、振り返り（亘理町障がい者プラン）

イ　教育庁生涯学習課　人権教育指導者養成事業に係る会議メンバー

・会議　期日：９月７日（木）10：00～12：00　　会場：魚信基ビル

内容：・今般の人権教育の流れと方向性について

・令和５年度人権教育指導者養成事業の方向性について

・医療関係者研修会講師

期日：２月２１日（水）14：00～15：40

会場：気仙沼市医師会付属高等看護学校

内容：「人権と医療について」

6　その他

（１）相談支援

主たる新規相談

・障害者雇用（宮城教育大学での求人）相談

・地域コミュニティ創出行事（ボッチャ体験）（東北工業大学教員）相談

・卒業論文（宮城大学教員）相談

・ＩＣＴ（メール等）支援相談（個人）

・高等学校教育環境に関する相談（相談支援事業所）

・医療的ケア児対象行事開催について（宮城大学教員）

・コンビニエンスストア　ＳＤＧｓ活動に関する相談（ファミリーマート）

（２）社団法人生命保険協会宮城県協会「福祉募金寄贈先」選定のための推薦協力

（平成 26 年度からの一般財団法人宮城県肢体不自由児協会の協力を引き継ぐ）

・重度肢体不自由児等受入　放課後等ディサービス事業所（仙台市）推薦